

京都市における PRTR 法に基づく届出（平成 23 年度データ）の集計結果について

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下「PRTR 法」という。）では、業種や従業員数等の一定要件を満たす事業者は、毎年、前年度に各事業所で取り扱った化学物質について、大気や河川等の環境中へ排出する量及び廃棄物等として事業所外へ移動する量を把握し、届け出ることを義務付けています。

この度、平成 24 年度に京都市内の事業所から届出があった「平成 23 年度の化学物質の排出量等」の集計結果を下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 PRTR 法の目的

国及び自治体が、人の健康や動植物に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質の環境への排出量を把握し公表することにより、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、化学物質による環境汚染を未然に防止することを目的としています。

2 事業所からの届出情報

（1）行政区・業種別届出件数

京都市内の 207 事業所から届出がありました。届出件数の内訳は、表－1（次ページ）に示すとおりです。行政区別では、南区の 52 件が最も多く、次いで、伏見区の 45 件、右京区の 29 件の順となっています。業種別では、燃料小売業（ガソリンスタンド）の 95 件が最も多く、次いで製造業の 82 件の順となっています。

（2）届出された物質

PRTR 法の対象物質である 462 物質のうち、132 物質について届出があり、1 事業所あたりでは平均約 6 物質となっています。

届出数が最も多かった物質は、トルエンの 132 件で、次いでキシレンの 126 件、エチルベンゼンの 103 件の順となっており、この 3 物質はいずれも、主に塗料等の溶剤やガソリン中に含まれています。

表－１ 行政区・業種別の届出件数

行政区 業種名	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計
製造業	2	2	0	5	2	6	2	33	16	0	14	82
食料品製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
繊維工業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	5
家具・装飾品製造業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷・同関連産業	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	2	8
化学工業	1	0	0	1	1	1	0	10	2	0	4	20
医薬品製造業	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	5
窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
非鉄金属製造業	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3
金属製品製造業	0	1	0	0	0	0	0	8	3	0	2	14
一般機械器具製造業	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	1	0	3	4	0	0	8
輸送用機械器具製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
精密機械器具製造業	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	5
医療用機械器具・医療用品製造業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	5
石油卸売業	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	4
燃料小売業	4	6	7	4	0	12	12	13	11	3	23	95
洗濯業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
自動車整備業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
機械修理業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
商品検査業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計量証明業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
一般廃棄物処理業	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	5
産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
特別管理産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
高等教育機関	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	0	5
自然科学研究所	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
合計	6	9	11	11	2	21	16	52	29	5	45	207

3 届出排出量及び移動量の集計結果

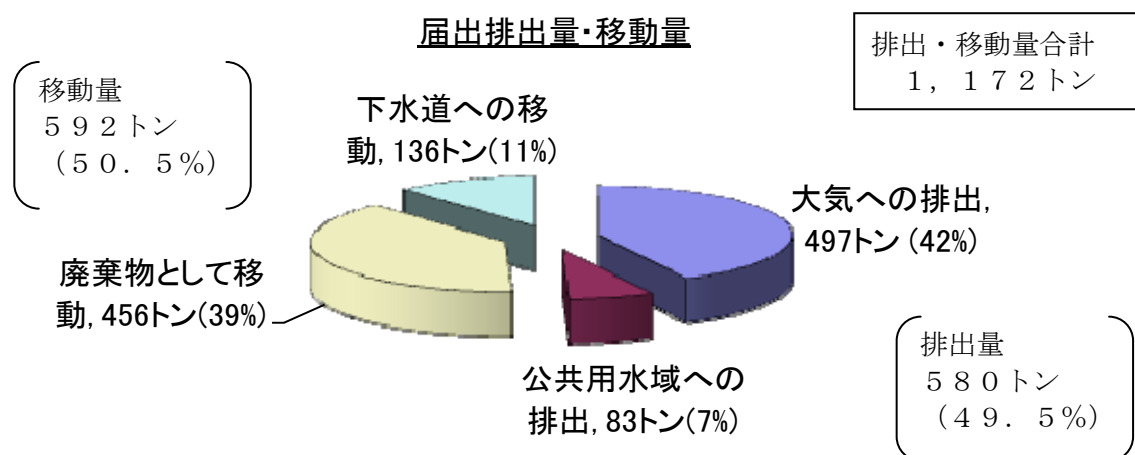
(1) 全事業所及び全物質の排出量・移動量

届出のあった排出量・移動量の合計は1, 172トンであり、そのうち排出量は580トン（49.5%）、移動量は592トン（50.5%）となっています。

排出量（580トン）の内訳は、大気への排出量が497トン（85.7%）、公共用水域への排出が83トン（14.3%）となっており、大部分が大気への排出となっています。

移動量（592トン）の内訳は、廃棄物としての移動量が456トン（77.1%）、下水道への移動量が136トン（22.9%）となっており、大部分が廃棄物としての移動となっています。

図－1 届出排出量・移動量の内訳

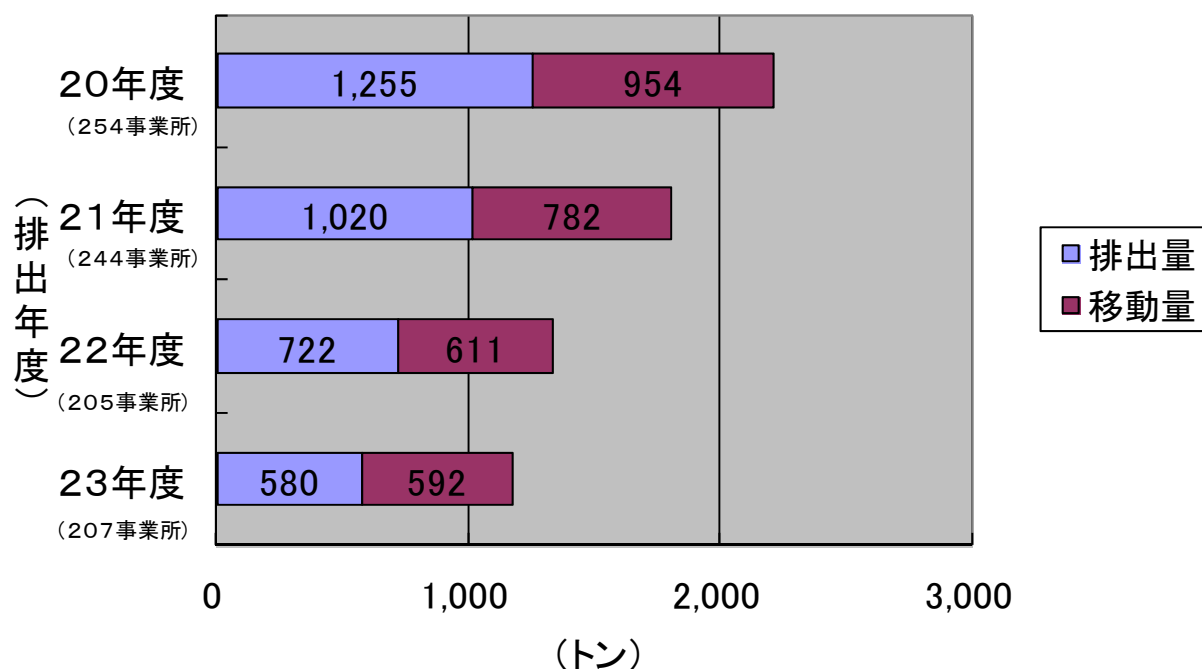


※排出量・移動量の合計は、端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(2) 届出排出量・移動量の経年変化

前年度と比較すると、届出事業所数は2件増加していますが、大気や公共用水域への排出量は142トン減少、廃棄物や下水道への移動量は19トン減少しています。

図－2 届出排出量・移動量の経年変化

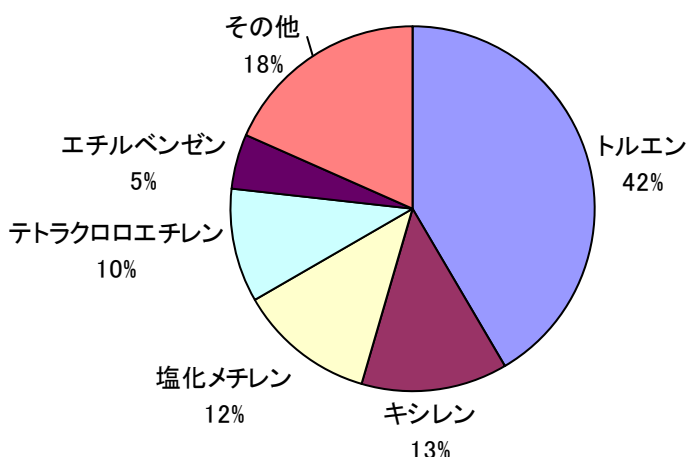


※()内は届出事業所数を示す。

※排出量・移動量の値は、端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(3) 大気への排出量が多かった物質

排出量のうち、大気への排出量が多かった上位5物質は、表－2に示すとおり、トルエン、キシレン、塩化メチレン、テトラクロロエチレン、エチルベンゼンの順となっています。これらの物質の大気への排出量の合計は、406トンであり、大気への排出量全体の81.7%を占めています。



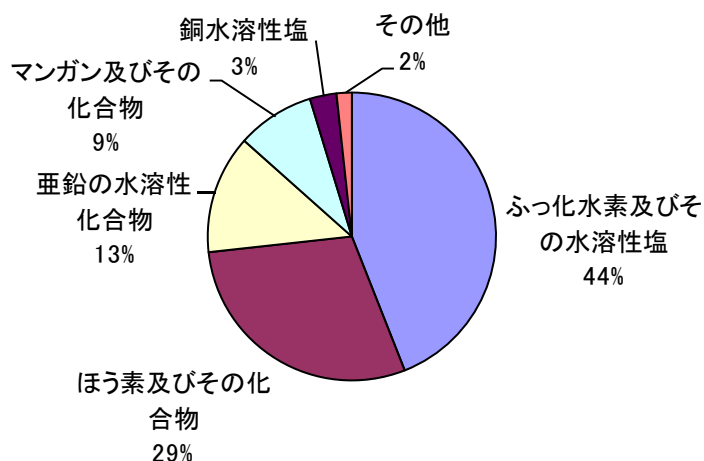
表－2 上位5物質の大気への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	トルエン	207トン	合成原料，ガソリン成分，溶剤
2	キシレン	64トン	合成原料，ガソリン・灯油成分，溶剤
3	塩化メチレン	60トン	洗浄剤，溶剤
4	テトラクロロエチレン	50トン	ドライクリーニング溶剤，洗浄剤
5	エチルベンゼン	24トン	合成原料，ガソリン成分，溶剤
上位5物質合計		406トン	－
総計		497トン	－

※各物質の排出量の値は、端数を四捨五入しているため上位5物質合計と合わない場合があります。

(4) 公共用水域への排出量が多かった物質

排出量のうち、公共用水域（河川）への排出量が多かった上位5物質は、表－3に示すとおり、ふっ化水素及びその水溶性塩、ほう素化合物、亜鉛の水溶性化合物、マンガン及びその化合物、銅水溶性塩の順となっています。これらの物質の公共用水域への排出量の合計は、82トンであり、公共用水域への排出量全体の98.3%を占めています。



表－3 上位5物質の公共用水域への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	ふっ化水素及びその水溶性塩	37トン	半導体や金属の研磨
2	ほう素化合物	24トン	電子工業，ガラス原料
3	亜鉛の水溶性化合物	11トン	金属表面処理，乾電池
4	マンガン及びその化合物	7トン	鑄造，電池
5	銅水溶性塩	2トン	メッキ，農薬原料，電池
上位5物質合計		82トン	－
総計		83トン	－

※各物質の排出量の値は、端数を四捨五入しているため上位5物質合計と合わない場合があります。

(5) 廃棄物として移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、廃棄物としての移動量が多かった上位5物質は、表-4に示すとおり、トルエン、N,N-ジメチルホルムアミド、ノルマルーヘキサン、塩化メチレン、キシレンの順となっています。

これらの物質の廃棄物としての移動量の合計は、322トンであり、廃棄物としての移動量全体の70.6%を占めています。

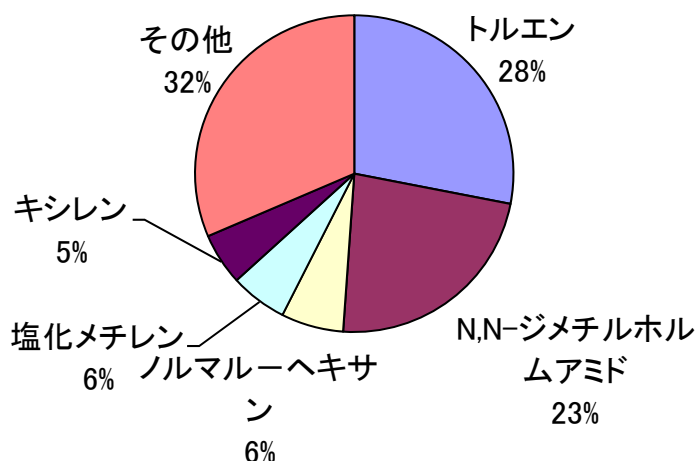


表-4 上位5物質の廃棄物としての移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	トルエン	132トン	合成原料, ガソリン成分, 溶剤
2	N,N-ジメチルホルムアミド	108トン	溶剤, 試薬
3	ノルマルーヘキサン	30トン	洗浄剤, 溶剤
4	塩化メチレン	27トン	洗浄剤, 溶剤
5	キシレン	25トン	合成原料, ガソリン・灯油成分, 溶剤
上位5物質合計		322トン	—
総計		456トン	—

※各物質の移動量の値は、端数を四捨五入しているため上位5物質合計と合わない場合があります。

(6) 下水道への移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、下水道への移動量が多かった上位5物質は、表-5に示すとおり、メタクリル酸、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル、N,N-ジメチルホルムアミド、ホルムアルデヒド、ベンズアルデヒドの順となっています。

これらの物質の下水道への移動量の合計は、126トンであり、下水道への移動量全体の93.0%を占めています。

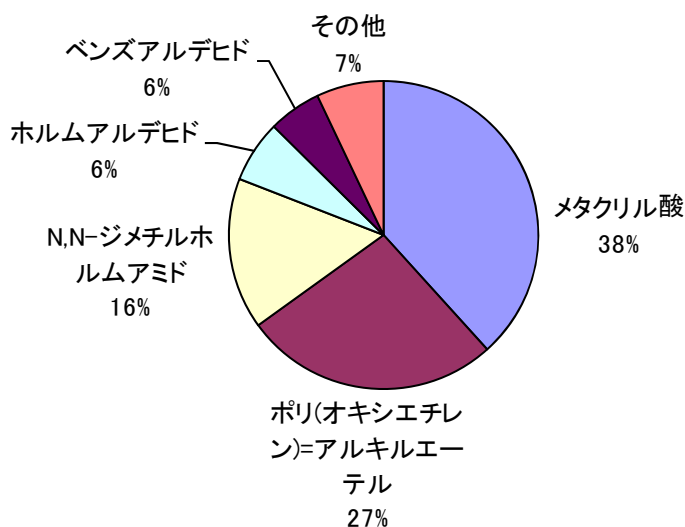


表-5 上位5物質の下水道への移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	メタクリル酸	52トン	重合原料, 加工剤
2	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	36トン	界面活性剤, 乳化・分散剤
3	N,N-ジメチルホルムアミド	22トン	溶剤, 試薬
4	ホルムアルデヒド	9トン	重合・合成原料
5	ベンズアルデヒド	8トン	染料, 香料, 医薬品
上位5物質合計		126トン	—
総計		136トン	—

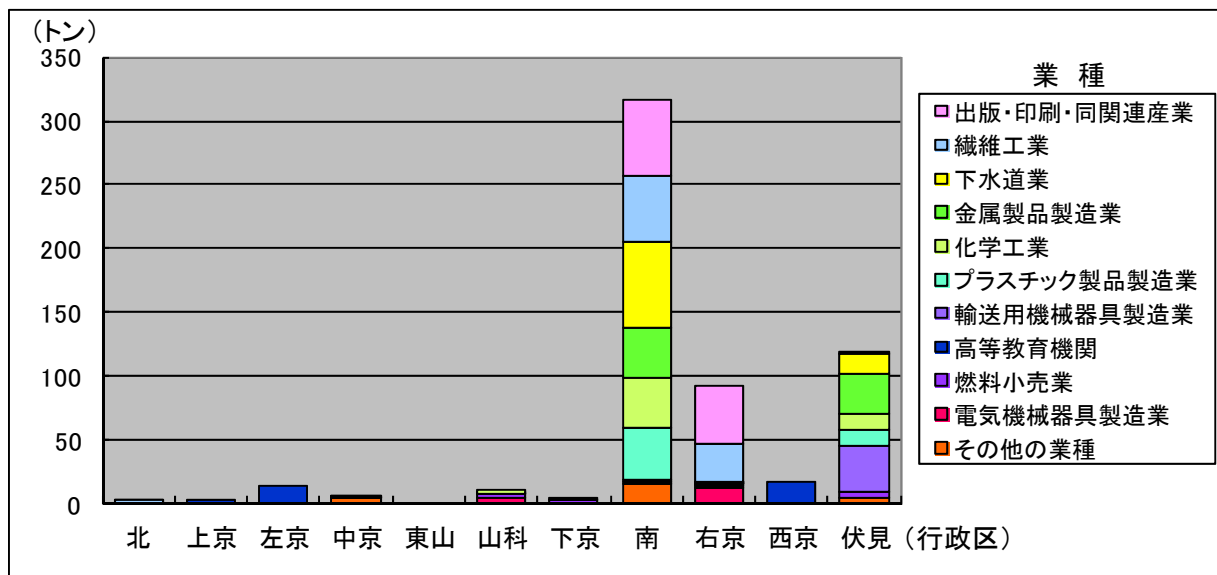
※各物質の移動量の値は、端数を四捨五入しているため上位5物質合計と合わない場合があります。

(7) 行政区・業種別排出量

排出量の内訳は、表－6（次ページ）に示すとおりです。行政区別では南区の316トンが最も多く、次いで伏見区の119トン、右京区の92トンの順となっています。

業種別では出版・印刷・同関連産業の107トンが最も多く、次いで繊維工業の85トン、下水道業の83トンの順となっています。

図－3 行政区別の排出量



表－6 行政区・業種別の排出量

単位：kg／年

業種	行政区	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業		1,823	0	0	3,553	135	8,104	2,200	238,298	90,186	0	96,787	441,086	76.0%
食料品製造業													0	0.0%
繊維工業		1,800						1,200	51,800	30,000			84,800	14.6%
家具・装飾品製造業									1,100				1,100	0.2%
出版・印刷・同関連産業									59,000	45,310		2,200	106,510	18.4%
化学工業		23			53	135	3,660		39,010	26		13,897	56,804	9.8%
医薬品製造業							100						100	0.0%
プラスチック製品製造業									40,600	226		12,000	52,826	9.1%
窯業・土石製品製造業									2,413				2,413	0.4%
非鉄金属製造業							44		43				87	0.0%
金属製品製造業									39,090	1,548		30,100	70,738	12.2%
一般機械器具製造業					1,600				2,220				3,820	0.7%
電気機械器具製造業							4,300		1,722	11,800			17,822	3.1%
輸送用機械器具製造業										1,276		35,800	37,076	6.4%
精密機械器具製造業					1,900			1,000	1,300			490	4,690	0.8%
医療用機械器具・医療用品製造業													0	0.0%
その他の製造業												2,300	2,300	0.4%
下水道業									67,548			15,581	83,129	14.3%
石油卸売業												11	11	0.0%
燃料小売業		992	768	1,309	758		2,729	1,815	2,401	2,022	699	4,847	18,340	3.2%
洗濯業												1,300	1,300	0.2%
自動車整備業									2,030				2,030	0.3%
機械修理業									5,000				5,000	0.9%
商品検査業					90								90	0.0%
計量証明業					361								361	0.1%
一般廃棄物処理業													0	0.0%
産業廃棄物処分業													0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業													0	0.0%
高等教育機関			67	12,127			49				16,380		28,623	4.9%
自然科学研究所									235				235	0.0%
合計		2,815	835	13,436	4,762	135	10,882	4,015	315,512	92,208	17,079	118,526	580,205	100.0%
割合		0.5%	0.1%	2.3%	0.8%	0.0%	1.9%	0.7%	54.4%	15.9%	2.9%	20.4%	100.0%	－

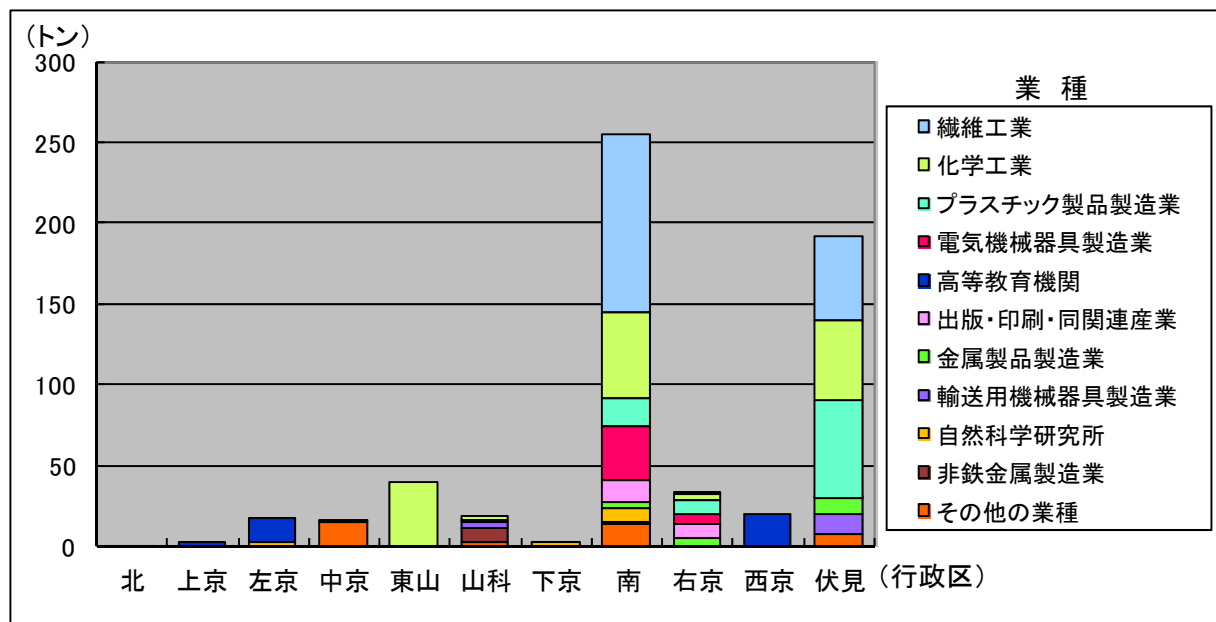
※排出量の合計・割合は，端数を四捨五入しているため本集計表の縦・横方向に合計した値と異なる場合があります。

(8) 行政区・業種別移動量

業種別・行政区別の移動量の内訳は、表－７（次ページ）に示すとおりです。行政区別では南区の２５５トンが最も多く、次いで伏見区の１９１トン、東山区の３９トンとなっています。

業種別では、繊維工業の１６５トンが最も多く、次いで化学工業の１４７トン、プラスチック製品製造業の８７トンの順となっています。

図－４ 行政区別の移動量



表ー 7 行政区・業種別の移動量

単位：kg／年

業種	行政区	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業		114	580	0	4,897	38,897	15,976	20	244,967	33,371	0	191,147	529,969	89.6%
食料品製造業													0	0.0%
繊維工業									111,200	1,300		52,000	164,500	27.8%
家具・装飾品製造業									110				110	0.0%
出版・印刷・同関連産業									14,100	9,702		200	24,002	4.1%
化学工業	114				177	38,677	1,864		52,592	4,091		49,177	146,692	24.8%
医薬品製造業					1,400		2,300						3,700	0.6%
プラスチック製品製造業									17,780	8,220		60,600	86,600	14.6%
窯業・土石製品製造業									8,898				8,898	1.5%
非鉄金属製造業							7,812		1,188				9,000	1.5%
金属製品製造業			580						4,329	3,928		9,720	18,557	3.1%
一般機械器具製造業					1,820				2,050				3,870	0.7%
電気機械器具製造業									32,713	6,109			38,822	6.6%
輸送用機械器具製造業							4,000			21		13,000	17,021	2.9%
精密機械器具製造業					1,500	220		20	7			1,000	2,747	0.5%
医療用機械器具・医療用品製造業													0	0.0%
その他の製造業												5,450	5,450	0.9%
下水道業									1,578				1,578	0.3%
石油卸売業													0	0.0%
燃料小売業													0	0.0%
洗濯業												150	150	0.0%
自動車整備業									33				33	0.0%
機械修理業													0	0.0%
商品検査業					2,300								2,300	0.4%
計量証明業					7,600								7,600	1.3%
一般廃棄物処理業													0	0.0%
産業廃棄物処分業													0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業													0	0.0%
高等教育機関			1,600	14,351			1,700				19,547		37,198	6.3%
自然科学研究所				2,400				1,700	8,600				12,700	2.1%
合計		114	2,180	16,751	14,797	38,897	17,676	1,720	255,178	33,371	19,547	191,297	591,528	100.0%
割合		0.0%	0.4%	2.8%	2.5%	6.6%	3.0%	0.3%	43.1%	5.6%	3.3%	32.3%	100.0%	－

※排出量の合計・割合は，端数を四捨五入しているため本集計表の縦・横方向に合計した値と異なる場合があります。